

# 新年のごあいさつ



南越前町長

## 川野 順万

新年あけましておめでとうござい  
ます。

町民の皆様方には、輝かしい新年  
をご家族お揃いでお迎えのことと、  
心からお慶び申し上げます。

私が町政を担わせていただき、早  
4年が経過いたしました。その間、  
各事業の実施に際し、町民の皆様方  
の温かいご理解と絶大なるご協力を  
賜り衷心より厚く御礼を申し上げます。  
過去4年間を振り返ってみます  
と、私の政策の目玉である山海里集  
落支援事業補助金の新設、農村漁村  
活性化プロジェクト交付金支援事業  
の新規採択、町産業物産フェアなど  
の新設事業への支援をはじめ、今庄  
なないろこども園の完成、南条スマー  
トIC関連事業の整備、公共施設へ  
のデジタル放送対応型テレビの導入、  
町営住宅の建設などに取り組んでま  
いりました。また、民間介護施設の  
誘致、空き工場への植物工場の企業  
誘致にも取り組んでまいりました。

さらには、耐震大規模改修事業にも  
力を注ぎ、南条中学校、今庄中学校、  
河野中学校および湯尾小学校と町内  
の小中学校すべての耐震化が完了い  
たしました。役場本庁舎の耐震化も  
今年度で完了いたします。

こうした状況の中で、就任以来もっ  
とも大きな出来事は、一昨年の3月  
11日の東日本大震災による福島原子  
力発電所の事故であります。これか  
らのエネルギー政策を転換させる極  
めて大きな出来事であり、14基の原  
発を抱える福井県にとっても、敦賀  
1・2号機から8号機内にある本町に  
とつても極めて深刻な出来事となり  
ました。本町としましては、速やか  
に地域防災計画の見直し業務やヨウ  
素剤・放射線測定器購入の予算化に  
取り組むとともに、岐阜県羽島市と  
災害時における相互援助協定を締結  
しました。また、電力事業者との安  
全協定の見直しについても準立地連  
絡協議会の中で真剣に取り組んでま

いりました。今後とも、安全安心な  
まちづくりを全力で取り組むことが  
大切であると考えております。一方、  
国道305号線のホノケ山トンネル  
が昨年の3月に貫通し、平成25年度  
中の完成がみえてきました。また、  
北陸新幹線の着工が認可され、用地  
交渉を含めた地元説明会もスタート  
しました。今後とも、将来を見据え  
たまちづくりを町民の皆様方とも  
に考えていかなければならないと思  
います。

それでは、私が進めてまいりまし  
た平成24年度の《5つのまちづくり》  
の具体的な事業の取り組みと進捗状  
況について、ご報告させていただきます。

まず、1つ目の「町民に優しいま  
ちづくり」であります。公共施設  
のバリアフリー化の実施、婚活イベ  
ントの開催、今庄・河野地域包括サ  
ブセンターの開設などに取り組んで  
まいりました。

次に、2つ目の「安全安心して暮  
らせるまちづくり」であります。暮  
らせるまちづくりであり、防災行政無線  
のデジタル化整備に係る基本設計の  
実施、役場本庁舎の耐震大規模改修  
事業の実施、今庄診療所医師住宅の  
改修、消雪工事と小型除雪機の貸与  
などに取り組んでまいりました。

次に、3つ目の「活き活きと働け  
るまちづくり」であります。山海  
里集落支援事業の推進、特産品生産  
奨励事業の支援、小水力発電施設の  
導入支援、有害鳥獣対策、町産業物  
産フェアの開催支援、観光モニター

ツアーの実施などに取り組んでまい  
りました。

次に、4つ目の「人と文化を育む  
まちづくり」であります。河野小  
中学校グラウンド照明設備の整備、  
男女共同参画事業の推進、南条地区  
幼保在り方検討委員会の開催などに  
取り組んでまいりました。

最後に、5つ目の「住民主体のま  
ちづくり」であります。ケーブル  
インターネットの中速化サービスの  
開始、17集落地区集会所の改修支援、  
公共施設の管理運営改善、ホテルの  
郷づくりなどに取り組んでまいりま  
した。

以上が、私の公約であります《5  
つのまちづくり》の進捗状況であり  
ます。

昨今の地方自治を取り巻く情勢は、  
大変厳しいものがあります。本町に  
おいては、人口減少による過疎問題、  
原子力政策の転換と防災対策、北陸  
新幹線の着工による並行在来線の維  
持確保、電源交付金の削減による財  
政問題など大きな課題が山積してお  
ります。こうした状況の中で、しつ  
かり行財政改革に取り組み、国・県・  
関係者と連携をとり、町民福祉の更  
なる向上に努めなければならぬとい  
考えております。

この新しい年が、町民の皆様方に  
とりまして、幸多き年となりますこ  
とを心よりご祈念申し上げます。年頭の  
ごあいさつといたします。



# 年頭にあたり



南越前町議会議長

丸岡 武司



新年明けましておめでとございます。

輝かしい平成25年の新春を、皆様とともに迎えられますことを、心よりお慶び申し上げます。また、日ごろから議会に対しまして格別のご理解とご指導、ご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、1月末から降り続いた雪は2年続けて大雪を記録し、連日、除雪作業に明け暮れました。2月には、整備新幹線（北陸新幹線）に係る議員研修を開催し、県担当課から概要と諸課題について説明を受け、並行在来線の経営分離など、さまざまな課題を議論いたしました。7月・8月は昨年同様に記録的な猛暑や局地的な豪雨が降るなど各地で災害が発生いたしました。幸いにも本町では大きな災害、被害は発生しませんでした。8月には旧今庄小

学校跡地に認知症対応型共同生活介護施設「ふれあい大地」が開設され、新たな介護サービスが始まりました。また、北陸新幹線金沢・敦賀間建設工事の起工式と建設促進大会が全県挙げて執り行われ、我々も参加いたしました。年末には(株)野菜工房福井南越前工場がオープンして野菜の出荷が始まりました。

国政では、社会保障と税の一体改革が議論されてきましたが、消費税増税法案だけが採択され、社会保障関係はほとんど棚上げ状態でした。先月の衆議院総選挙で自民党が圧勝したものの、前政権から引き継いだ問題が山積しており、いまだ先が見えていません。今年は新しい政治の創造を期待したいところです。

そのような社会情勢下で、嶺北町村議会議長会として、西川知事に県内8町の整備について要望活動

を行いました。本町議会からは、主に町内を走る国道305号・8号・365号の3路線についての整備促進を要望いたしました。国道305号ホノケ山トンネルについては、早期完成に向けて更に促進するとお話がありました。9月議会定例会からは、ケーブルテレビ放映だけでなく、文字によっても住民の皆様には議会内容を知っていただくよう議会定例会報告を発行して総務文教・産建厚生両常任委員会からの報告、一般質問の内容を掲載しています。一方、9月と12月の議会定例会は、役場庁舎耐震大規模改造工事により別館会議室を仮議場として使用し、傍聴に来られた方々に不便をおかけいたしました。3月議会定例会からは、改修された議場での開会となります。

行政視察として、6月に日本原電(株)敦賀発電所、関西電力(株)美浜発電所へ原子力発電所における安全性向上対策の取り組みについて視察してまいりました。10月には、新潟県の東京電力(株)柏崎刈羽発電所へ出向き、東日本大震災後の安全対策についての比較をしてまいりました。どの施設も地震・津波からの安全確保対策として、電源確保・水源確保・浸水対策がとられており、更なる研究が進められていました。その足で、東北の被災地を訪れ、1年半が経過しても今なお復興が進んでいない現状を目の当たりにしました。その状況

下でも被災された方々が懸命に働いている姿に、人の強さ、絆の強さを感じました。

本町議会は昨年の議会定例会において、さまざまな一般質問をしてまいりました。地域防災に関するもの、空き家対策に関するもの、高齢者福祉対策に関するもの、保育・教育に関するものなど、すべての質問が大切な事項です。今後、これらの事項につきまして、どのように検討・検証を加えたのか議会として見極めていく必要があると思います。私たちが議員が住民の皆様からの付託に応えていくためにも、議会の責務の重大さを常に心において、皆様とともに町づくりに取り組んでまいる所存でございます。そして、本年も皆様に理解を深めていただけるような議会活動を展開するため、「開かれた議会」[分かりやすい議会]を目指してまいります。私たち議員も住民の皆様を町づくりに生かせるように議会活動に邁進していく覚悟でございます。

最後になりましたが、住民の皆様には、今年もこれまで以上のご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。併せて皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。